

とらじいちゃん

Tojinkyo SSKA
春号・総会議案集
合併号

No.225・2019 5.15

おもな記事

NPO法人東腎協第14回総会議案…… 2

リレーエッセイ……………14

活動のまど……………15



第30回腎臓病を考える都民の集い



第13回総会・第8回大会



第48次国会請願



臓器移植普及推進銀座パレード

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

NPO法人東京腎臓病協議会

第14回総会のご案内

第4回総会で決定したとおり、NPO東腎協定款を遵守し、正会員のみで第11回総会を左記のとおり東京都障害者福祉会館において開催します。

記

日時 2019年6月9日(日) 午後12時30分開場・13時開会
 会場 東京都障害者福祉会館・A1152
 〒108-0014 東京都港区芝5丁目18-2

電話 03-3455-6321 FAX 03-3453-6550
 交通機関
 ・JR山手線・京浜東北線 田町駅下車徒歩5分
 ・都営地下鉄浅草線 三田駅A7出口徒歩1分
 ・都営地下鉄三田線 三田駅A8出口徒歩1分

※参加者は議案集を必ずご持参下さい。

NPO法人東京腎臓病協議会

第9回大会のご案内

記

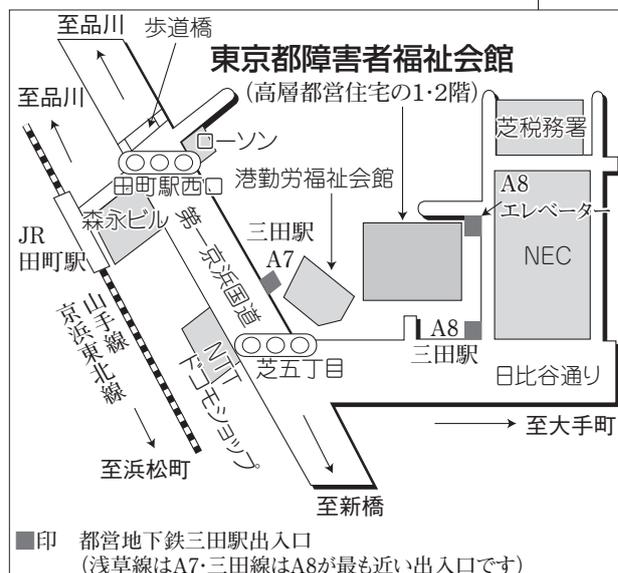
日時 2019年9月15日(日) 午後13時～16時
 次第 (第1部) 来賓挨拶、30年40年透析者表彰、患者会表彰
 (第2部) 記念講演

会場 主婦会館プラザエフ7Fカトレア

交通機関 東京都千代田区6番丁1-203(3265) 8111
 ・JR四ツ谷駅麹町口徒歩1分
 ・東京メトロ丸の内線四ツ谷駅1番出口徒歩3分
 ・東京メトロ南北線四ツ谷駅3番出口徒歩3分

記念講演 東京都の災害対策シンポジウム(予定)

(東京都・東京都透析医会・東腎協)



NPO法人東京腎臓病協議会

第14回総会式次第

司会者・開会あいさつ
会長挨拶・黙祷

定足数確認・正会員参加人数確認・総会の成立確認

議長選出

議長挨拶

議事録署名人選出

審議事項

第一号議案 2018年度・事業報告

2018年度・事業会計収支報告

2018年度・監査報告

第二号議案 2019年度・事業計画（案）

2019年度・事業会計予算（案）

質疑応答（採決）

第三号議案 2019・20年度・役員選出

採決

・その他、報告すべき事項

議長解任

閉会あいさつ

臨時理事会・会長選出

新役員あいさつ

NPO東腎協規約 第4章 総会

第15条（総会）

総会は、毎年1回開催し、正会員をもって構成する。総会では、①活動経過報告と決算および会計監査報告の承認②活動方針および予算の決定③規約の改廃④役員を選出⑤その他会務に関する事項等を審議決定する。

第16条（臨時総会）

正会員の5分の1以上の要求があったとき、または常任幹事会が必要と認めるときは臨時総会を開催しなければならない。

第17条（召集）

総会は、会長が召集する。

2 総会を召集するときは、会議の日時、場所、目的、及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

第18条（議長）

総会の議長は、その総会において、出席正会員の半以上から選出する。

第19条（定足数）

総会においては正会員の2分の1以上の出席があれば開会することはできない。

第20条（議決）

総会の議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第21条（委任等）

やむを得ない理由のため、総会に出席できない正会員は、書面により表決を委任できる。この場合前2条の規定の適用については、総会に出席したものとみなす。

第22条（議事録）

総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

正会員の現在員数、出席者数及び出席者氏名（表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること）

(2) 審議事項及び決議事項

(3) 議事の経過の概要及びその結果

(4) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、書名、捺印しなければならない。

目次

第14回総会式次第・総会規約・目次	1
NPO東腎協第14回総会議案	2
2018年度事業報告	2
2019年度事業計画（案）	7
2018年度会計収支報告	9
2019年度予算（案）	11
2018年度監査報告書	12
2019・20年度役員推薦名簿	13

リレーエッセイ	14
活動のまど	15
なかまのたより	18
第48次国会請願	20
中村博さんを偲んで	22
事務局から	23

2018年度事業報告

1 はじめに

東腎協は結成47年目を迎えました。この間、「透析医療の普及」「医療費自己負担の軽減」を柱に「命と暮らしを守る」活動に多くの仲間が賛同し、2003年には7000人を超える組織になりました。しかし、透析医療制度の安定や患者会の魅力減、患者会役員の高齢化などの要因で、年間300人を超える会員減少が続き、2019年3月末現在約2600名の会員となっております。

昨年度、組織の弱体化問題を中心議題として「東腎協再構築委員会」を立ち上げ、議論を重ねてきました。委員会では、原点に立ち返って、定款による東腎協が行う事業方針の確認、患者会・患者の課題、社会的課題、資金調達など東腎協組織の問題を分類し、年度ごとの達成目標を立て、何としても全腎協、東腎協の旗を守る活動を目指して取り組みを始めました。(機関誌NO.224冬号参照)

(1) 2017年末の慢性透析患者の現状 (表1～表3)

(全国の慢性透析患者の特徴)

- ① 2017年末慢性透析患者334,505人(前年比4,896増)
- ② 2017年末透析患者の高齢化(平均68.4歳/前年比0.2歳増)
- ③ 2017年末新規導入患者の高齢化(平均69.6歳/前年比0.28歳増)
- ④ 2017年末の東京の透析患者数は32,154人(前年比700人増)

(表1) 2017年12月末 都道府県患者数上位
日本透析医学会資料

	2017年12月末	前年比増
1.東京	32,154人	700人
2.大阪	23,801人	343人
3.神奈川	21,156人	306人
4.愛知	18,299人	48人
5.埼玉	18,252人	369人
6.北海道	15,675人	243人
7.千葉	15,382人	565人
8.福岡	14,894人	93人
9.兵庫	14,036人	364人
10.静岡	11,187人	338人

(表2) 2017年12月末 年齢・男女別患者数

日本透析医学会資料

透析年数	男	女	合計	%
5年未満	103,706人	48,710人	152,416人	47.4%
5年以上10年未満	52,564人	27,026人	79,590人	24.8%
10年以上15年未満	25,103人	15,294人	40,397人	12.6%
15年以上20年未満	13,007人	9,232人	22,239人	6.9%
20年以上25年未満	6,958人	5,578人	12,536人	3.9%
25年以上30年未満	3,696人	3,319人	7,015人	2.2%
30年以上35年未満	2,074人	1,952人	4,026人	1.3%
35年以上40年未満	1,150人	1,021人	2,171人	0.7%
40年以上	473人	448人	921人	0.3%
不明・記載なし	139人	68人	207人	
合計	208,870人	112,648人	321,518人	
年齢別	男	女	合計	%
60歳未満	50,451人	21,290人	71,741人	22.4%
60歳以上	22,935人	11,194人	34,129人	10.6%
65歳以上	36,502人	18,697人	55,199人	17.2%
70歳以上	33,059人	17,545人	50,604人	15.7%
75歳以上	65,923人	43,922人	109,845人	34.1%
合計	208,870人	112,648人	321,518人	

(表3) 2017年12月末 慢性透析療法の現状

日本透析医学会資料

透析施設数	4,360施設	24施設増
慢性透析者	334,505人	4,896人増
通院	血液透析等	294,988人 88.2%
	腹膜透析等	8,645人 2.6%
入院	血液透析等	29,743人 8.9%
	腹膜透析等	445人 0.1%
在宅血液透析	684人	0.2%
夜間透析	31,916人	9.5%
新規導入患者数	40,959人	1,615人増
死亡患者数	32,532人	742人増
導入平均年齢	69.7歳	0.3歳増
患者平均年齢	68.43歳	2.3歳増
最長透析者	49年4ヶ月	

(2) 透析患者の医療費をめぐる情勢

①各種医療費助成制度の後退（地方における個人負担増）

全国では、一医療機関の受診に対し月2回以上受診した場合、1回につき300円～500円の診療費、薬代の自己負担が発生しています（上限3～5,000円）。東京でも近い将来検討されることになるでしょう。

②高齢者の高額医療費の引き上げ

2017年8月から、高齢者医療制度の高額医療費が引き上げられたのを受け、「障害者医療費助成制度（マル障）」による自己負担限度額が12,000円から14,000円に引き上げられました。

③人工透析に関わる診療報酬の改定

2018年度は診療報酬の改定がありました。今回の改定では、透析用監視装置（コンソール）の台数とその台数に対する患者数に応じた点数が導入されました。透析クリニックの規模によって点数が異なることについて、無料送迎

サービスの継続や医療スタッフの人数など、透析環境に影響が生じるのではないかと懸念されるので、引き続き注視していく必要があります。

2 東腎協の患者・患者会の現状

(1) 患者、患者会の現状

①2018年度患者会の動向について

昨年度は12件の患者会が解散しました（新しく出来た患者会はゼロ）。1年間に解散した件数としては過去最多と思われます。解散理由の特徴は、①一人で頑張っている役員が何らかの事情で動けなくなった、または亡くなった。そしてあとに続く会員さんがいないので解散、というケース。②患者会（または東腎協）に対して無理・非協力的な医療施設のもとで解・患者会の維持・活動は難しい。しかしもう一方では、患者会（または東腎協）に対して物心両面の手厚い支援を惜しまない医療施設の下であっても、必ずしも患者会の維持は保証されない。患者会側の力不足のために解散というケ

ース。このケースは意外に多い。

②患者会活動は東腎協運動の力ナ

メ
2018年5月より開始した再構築委員会の議論の中で、「患者会支援」も掲げられました。

事務局では、すぐに出来る項目として機関誌送付代行と患者会の現金管理を提案し、すでに現在一部患者会に対して個々の会員に機関誌送付を行っています。いま患者会が直面している問題を東腎協全体として共有し、患者会運営の経験交流を進める場を設けて行きたいと思えます。

③ブロック活動の重要性

患者会独自の行事や運営が困難になってきている今日、患者会の枠を超えたブロック単位の活動がますます重要となっております。2018年度は各ブロックで学習会、交流会、お花見会、料理教室、趣味の会など多彩な活動が行われました。ブロックの個人会員と患者会会員の交流の場ともなっていて、これからの患者会活動の在り方への問題提起となっております。

3 2018年度の活動報告

(1) ブロック・青年部・地域腎友会その他の活動報告

□東部ブロック長（代行）

酒井 豊

7月22日（日）会員交流会を開催し、透析医療を取り巻く現状として、診療報酬改定の概要、相次ぐ災害に対し、透析を確保するための対応等の報告をしました。また東腎協の会員数・加盟患者会数減少の状況報告と今後の東腎協の運営方針について意見交換を行いました。

11月11日（日）には（医）清湘会の管理栄養士の先生方のご協力をいただき、料理講習会を開催しました。少ない塩分で美味しい料理にする調理方法について実習し、試食時には「体力作りと食事～フレイルとサルコペニアについて～」の講義をしていただきました。12月2日（日）中南部ブロックとの合同の交流会に参加しました。

□中南部ブロック長

須賀春美

9月16日個人会員交流会を行い、個人会員同士と理事の交流を深め

ました。12月2日「津軽三味線と昼食会」という企画で東部ブロックと合同で会員交流会を行いました。初めての企画でしたが、盛況でみなさんとても楽しんで頂けました。2018年度は諸事情により都合がつかず正会員会議等行事があまり行えませんでしたので、2019年度は早めに年間計画を決定し、ひとりでも多くの方と活動・交流したいと思います。

□北部ブロック長 榊原靖夫

本年度の「北部ブロック活動」は、開催行事は多くは無かったのですが、それぞれ意義深く内容の充実した集まりでした。東腎協がブロック制を敷いた当初は「勉強会」や「交流会」が主流でしたが、近年は「正会員会議」が主たる役割を果たす様になりました。

東腎協「理事会」と「会員皆様」との意志疎通促進や正確で迅速な情報伝達、そして「東腎協活動」への広範囲に渡る意見交換と建設的議論等を通して各患者会間や正会員様間のコミュニケーションをより深くして行く事に成果を生んでいると思います。
北部ブロックは長く「正会員」

を務めておられる方が多く、そのため非常に「正会員」様間のコミュニケーションは良好だと思われまます。反面、長いだけに皆様高齢な方も多く、後継者不在に悩まされていきます。この事こそが解散や休会する患者会が出る最大の理由であり、この解決こそが「東腎協活動」の大きな課題だと思います。

□多摩ブロック長(代行) 中野雄蔵

2018年度は2月3日(日)の新年会や3月31日(日)お花見&BBQなど、患者会会員と個人会員が連携を密にして共同開催することができ、将来の会員全体の交流発展への大きな布石とすることができました。また2度の正会員会議を通じて、患者会の維持継続や活性化について、ブロック内の正会員同士の連携が強くなってきており、2019年度に期待したいと思います。

学習会は3月17日(日)八王子市内の「八王子クリエイトホール」で開催され45名が参加しました。講師は医療法人正賀会・佐々木山下医院山下賀正院長。講演のタイトルは、「透析患者の命綱である」シ

ヤント」のトラブルについて熱心に勉強しました。2019年度も会員さんの興味ある企画を立てたいと思います。

□青年部長 永見明子

東腎協青年部としての活動はほとんど出来ませんでした。理事会にはオブザーバーとして小林副部長他1名が出席し、理事会の資料・内容を部員と共有しました。

今後の課題として①全国・関東の青年部と情報を共有して活動を見直す②青年層の人数把握や情報を共有を行い青年部のデータベースを構築・管理する。③青年部の規定の見直し④人材育成を図っていく。

(2) NPO東腎協の活動報告

①東京都透析医会との連携
2018年1月に日本透析医会の東京支部として東京都透析医会が発足しました。そして5月には災害対策委員会が設置され、東京都臨床工学会災害対策委員会と協力し、東京都福祉保健局や関連団体と連携し災害対策に対する取り組みを前進させました。

表3 ブロック・青年部・地域腎友会その他の活動報告

	正会員会議	個人会員会議・交流会	学習会・講演会
東部ブロック	7/22	7/22個人会員、12/2親睦会	11/11料理講習会
中南部ブロック	7/22	9/16個人会員、12/2親睦会	
北部ブロック	7/1、2/3	9/9個人会員、2/3新年会	
多摩ブロック	7/22、2/3	11/11個人会員、2/3新年会(合同)、3/31お花見・BBQ	3/17学習会
青年部	8/25全腎協青年部長、2/3関東ブロック青年部長、2/9定例会		
江戸川区腎友さつき会	8/9区政懇談会、8/26講演会、10/7区民まつり、11/4バス旅行、11/24役員顧問懇談会、地域自立支援協議会(7/19、11/1)障害者団体連絡会(5/8、9/27、11/8、3/19)		
板橋腎友さくら会	11/4区民公開講座		
八王子市地域腎友会	7/1第17回透析サロン		
東京歩こう会	4/1上野、8/5高尾山、10/21新宿御苑、1/20錦糸町		

また、2019年3月10日(日)

に東京都23区民公開講座「震災に備えて」を開催し、①東京都区部災害時透析ネットワークと三多摩地区、医会、技士の連携について、②熊本地震の報告とその時透析施設は？のテーマでシンポジウムが開催され、東腎協からも多くの会員が参加しました。

今後、東京都透析医会、関連する他団体との日常的な連携・情報交換が必要となってきます。

②東京都予算要請

東腎協の重要な活動である東京都への2019年度予算要請が、8月30日(木)都庁第一本庁舎26F会議室において行われました。以下の8つの大項目と14の小項目(機関誌「とうじんきょう」NO.223秋号に掲載)に回答がありました。

1. 各種医療助成制度等の維持継続について 2. 要介護透析者への支援強化について 3. CKD(慢性腎臓病)への取り組みについて 4. 腎臓病患者の救急医療について 5. 透析医療の安全について 6. 透析患者への大災害対策について 7. 再生医療と

臓器移植について 8. 就労支援について

③都議会各党とのヒアリング

東京都への予算要請の実現のため、都議会各党派へのヒアリングが7月26日(木)に都民ファーストの会東京都議団、7月31日(火)に都議会公明党。9月6日(木)に都議会自民党、都議会立憲民主党、日本共産党都議団の各党派と20分〜30分の話し合いがもたれ、透析患者の実態と要請の内容を説明し、理解していただきました。

④東腎協第8回大会

6月3日(日)第8回東腎協大会を東京都障害者福祉会館で開催した。参加者は一般会員、賛助会員、東腎協役員を合わせて約150名。第1部は東京都疾病対策課鈴木祐子課長、都議会自民党田村利光議員様、都議会公明党政調会長立花正剛様、日本共産党東京都議会議員団副幹事長和泉なおみ様、都議会立憲民主党政調会長宮瀬英治様のご挨拶。長期透析者(40年5名、30年24名)の表彰と2017年度会員拡大優秀患者会の表彰を行いました。

第2部は「近未来の透析療法 小型腎臓器開発の現在、未来」をテーマに東京医科大学病院主任教授の菅野義彦先生に講演していただきました。週1回の透析が現実となる可能性について、積極的な質問が参加者から相次ぎました。『とうじんきょう』NO.222夏号に講演記録掲載)

⑤国会請願運動

第48次国会請願は2019年3月14日(木)参議院議員会館講堂で全国の代表181名が参加して行われました。東腎協から8名の理事が参加し、東京選出の衆参国會議員10名に請願署名を渡しました(全国の紹介議員は300名)。東京の署名数は全腎協10,971筆(昨年13,878筆)、募金は735,2140円(昨年1,113,910円)でした。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

(3) 社会貢献事業活動報告

①第38回臓器移植普及推進キャンペーン

2018年度の第38回臓器移植普及推進キャンペーンは、10月7日(日)、台風25号の影響を受け、

真夏のような猛暑の中で行われました。

午前部は10時から、東京都、東腎協役員・会員・東京医大八王子医療センターの先生や看護師さん、総勢34名の参加で行われ、午後の部は、12時45分から、東京都疾病対策課鈴木祐子課長、東京女子医大移植者の会(あけぼの会)、一般会員参加者を迎え総勢62名で行いました。開会式の後、ノベルティ5000個(ドナーカード入り)、パンフレット、風船600個などを道行く人達に配布しました。昨年度まで、上野公園会場と井の頭公園会場の2か所で行われていましたが、今年度は一か所に集中して開催しました。そのため広くしたテントの中で、東京医大八王子医療センターの先生や看護師さんたちの医療相談コーナー等もあり、従来になく盛り上がったキャンペーンとなりました。

②臓器移植推進グリーンリボンパレード

2018年度の臓器移植推進グリーンパレードは、10月14日(日)、明け方の雨模様もすっかり上がった好天気の中で、盛大に開催され

ました。

午前10時過ぎから共催団体の全腎協、東腎協、心臓病の子供を守る会、日本移植者協議会、胆道閉鎖症の子供を守る会、ニューハートクラブの方々が約80名、日比谷公園公会堂横に集合。東腎協からは約20名が参加しました。そして12時から、青山学院大学学友会バトントワリング、ブラスバンド部の皆さんを先頭にパレードが始まりました。昨年は台風で流れ、グリーンリボンパレードは6年ぶりとのこと。道行く人たちも思わず立ち止まり、ドナーカード入りノベルティ、パンフレットを受け取っていただきました。

③第30回腎臓病を考える都民の集い

2月10日(日)午後2時から4時半まで都民ホール(都庁議会議棟1F)で第30回腎臓病を考える都民の集いを開催しました。参加者は110名(男性40名、女性49名、関係者21名)でした。主催者を代表して、NPO法人東腎協梅原秀孝会長、共催者として、東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課鈴木祐子課長が挨拶しました。

第1部では、武蔵野赤十字病院副院長安藤亮一先生が「慢性腎臓病(CKD)を良く知ろう」、同病院栄養課長原純也先生が「今日から実践!腎臓病を守る食事療法のコツ」と題してご講演をいただきました。

第2部では、鈴木吏良さん(元NHKニュースキャスター)の司会・進行で、講師の安藤亮一先生、原純也先生に質疑応答をしていたいただきました。CKD(慢性腎臓病)に日々不安を抱えている参加者からは、切実な訴えや疑問質問が出され、両先生からの丁寧な回答に参加者も頷いていました。11月4日(日)、前回参加者へのフォローアップ研修が行なわれました。

(4)委員会活動報告

広報委員会(4名) 板橋俊司
機関誌「とうじんきょう」NO.221~NO.224号を発行した。ホームページの管理更新を行った。
行政委員会(7名) 古暮 宏
委員会は7回開催し、東京都予算要請、各党懇談会、東京透析医会との連携などを中心に活動した。

総務委員会(4名)

須賀春美

諸規定の見直しを行い、役員選出規定を改定した。

災害対策委員会(5名)

戸倉振一

9月に東京都透析医会と関連団体が共催した医療従事者向けの透析災害対策セミナーに参加させていただきました。災害対策に対する新たな取組みについて現状把握をした。12月に行われた東京都区部ネットワークの呼びかけによる、「災害時の透析医療をどう確保するか」についての座談会では、様々な質問にお答え頂き、今後の東腎協の災害対策を考える上での有益な情報を提供していただいた。2月には全腎協の関東ブロック災害対策委員会に参加し情報交換を行った。

(5)関連する他団体との活動

全国腎臓病協議会

5/19~20・全腎協大会in盛岡に3名参加、7/14~15・全国事務局長会議、同青年部長会議、11/3~4・通院介護研修会等に参加した。
全腎協理事には梅原、榊原の両理事を選出した。

全腎協関東ブロック

7/21~22日第83回関東ブロック会議(群馬)、12/9日第84回関東ブロック会議、2/24日災害対策部会、3/3日関東ブロック代表者会議等に出席した。
東京難病団体連絡協議会
5/27・第16回総会に出席した。また、東難連理事長には東腎協の榊原理事が選出された。

板橋区難病団体連絡協議会

6/17・総会、11/4・区民公開講座を開催、3/3・区内難病者の集い等を開催した。

(6)その他の活動

東京都より「災害備蓄米『はんぶん米』』について、2018年度は約25000食を無償譲渡され、東腎協の指定する病院施設・患者会・個人会員に配布した。2019年度は60000食が予定されています。

(7)協賛企業広告掲載事業

協賛企業広告掲載事業にはエルピス、ベータ食品、丸大食品、清光会、むつみ会、自靖会、新光会、東京曳舟病院、シニアライフセンターのご協力を頂いた。

2019年度事業計画(案)

全腎協結成50周年(2021年東腎協49周年)を

目指して、持続可能な患者会を作ろう

1 いつでも、どこでも、誰でも安心して透析が受けられる医療体制の継続を目指して

①国への要望の窓口として全腎協の存続と

- ・身近な地域で透析医療が受けられる医療体制の継続。
- ・健康保険における透析医療の患者負担限度額(1~2万円)の助成の継続。
- ・身体障害者手帳制度の継続。

②東京都への要望窓口として東腎協の存続

- ・健康保険における透析医療の患者負担限度額(1万円)の助成(マル都)の継続。
- ・心身障害者医療費助成制度(マル障)・福祉手当の継続。

③腎臓病患者の社会復帰・QOL向上に資する活動と社会貢献

- ・東京都透析医会災害対策委員会等との連携・災害対策
- ・CKD(都民の集い)・臓器移植対策(臓器移植キャンペーン)
- ・医療機関との協力
- ・「腎疾患対策検討会報告書」(H30・7)~腎疾患対策のさらなる推進目指して

2 患者会の存続を目指して

腎臓病に関連する「社会的課題」「患者が抱える問題」解決のために患者会を存続させていくため、必要な対策を推進します。(必要な対策)

- ①患者会運営の支援をします。
- ②個人会員の会費、企業・団体の協賛金、寄付金で安定した収入を得られるような取り組みをします。
- ③個人会員からの人材登用。

- ④患者に必要なとされる団体へ脱皮。
- ⑤腎臓病患者のQOL向上のため、患者の経験を発信(機関誌、HP)し、社会に注目される団体へ。
- ⑥透析歴が初期、中期、長期、年
- ⑦移植者(経験者)・保存期の患者への活動の輪を広げます。
- ⑧透析施設への入会案内ポスターの掲示依頼を積極的に行います。

3 2019年度の活動計画

(1) 社会貢献事業

- ①「第39回臓器移植キャンペーン」10月6日(日)に上野恩賜公園で東京都と共催で開催します。開催場所を一か所に絞り、昨年度を上回る実績を目指します。
- ②グリーンリボンパレードの開催

10月27日(日)に東腎協も参加する臓器移植推進連絡協議会(臓器移植)と、日比谷から銀座鍛冶橋まで「臓器移植推進グリーンリボンパレード」を行います。また、

26日(土)には都内で共催団体の交流会を行います。

③東京都への「2020年度予算要請」

昨年度と同様に下記の重点項目に絞り込み、8月に東京都に2020年度予算要請を行います。行政・政策委員会を中心に学習会などを企画し要請内容をさらに深めます。

1. 各種医療費助成制度の維持継続
2. 要介護透析者への支援強化
3. CKD(慢性腎臓病)への取り組み推進
4. 腎臓病患者の救急医療について
5. 透析医療の安全について
6. 透析患者の大災害時の対策について
7. 再生医療と臓器移植について
8. 就労支援について
9. 透析非導入・見合わせについて

④第49次国会請願署名運動

全腎協主催で48年続けてきました「国会請願署名運動」は、今後も取り組むべき重要な活動です。地道に確実に取り組み、国とのパイプを維持すべき活動として取り組みます。署名運動の取り組み期間は2019年10月から2020年1月までといたします。

⑤腎臓病を考える「都民の集い」の開催

広く一般市民に腎臓病の早期発見、早期治療を啓蒙するため、2020年3月に「腎臓病を考える都民の集い」を東京都と共催で開催します。マスクミ・医療施設・公共施設等への宣伝を強化して、昨年度を上回る実績を目指します。また、昨年度より始めたフォローアップ研修は、参加者の評判も良く、会員拡大の成果もあることから、今年度も5月12日(日)開催します。

⑥首都圏大災害への対策

①東京都透析医学会災害対策委員会等と連携し、首都圏大災害への対策を進めます。とりわけ、区市町村ごとに行政や医療機関と連携し、

独自のプロジェクトを目指します。
②「東腎協災害対策」マニュアルを活用し、災害時の対策訓練などを実施します。

③東腎協の災害対策として「患者会会員名簿」の更新・作成、災害時緊急連絡網の整備を行います。

(2) 広報活動

①機関誌発行年4回を堅持する

機関誌「とうじんきょう」を1、5、7、10月の4回発行します。

②ホームページの管理・更新

HPはイベントやお知らせの情報を遅滞なく細かく掲載し、メールでの問い合わせや資料請求などに迅速に対応します。また、慢性腎臓病(CKD)患者向けの情報を充実して、個人会員として入会を促進します。

③対外的広報活動を強化する

新聞、テレビ、ラジオなどに東腎協が主催する事業の広報活動を行います。また、医療施設や他団体への情報提供を強化します。

④広報の営業活動を強化する

東腎協の活動を理解いただき協

力いただく、賛助会員の増加に取り組み、バックアップ体制の強化を目指します。

⑤慢性腎臓病(CKD)患者の入会を強化します

透析前の腎臓病患者の入会を強化し、腎臓病患者のグループ化を目指します。

(3) 組織活動

①総会・理事会・正会員会議

1. 理事会開催は原則的に毎月開催します(8、12月は必要に応じて開催)。

2. 三役会議(会長、副会長、事務局長)を毎月開催します。

3. ブロックごとに、年2回正会員会議を開催します。

②事務局体制の強化

事務局強化は事業を活性化するための大きな柱です。厳しい財政事情の中ではありますが、有効的な財政運営を心がけ、健全財政に向けて努力します。

③ブロック体制の強化

ブロック活動は東腎協活動の柱です。会員・役員の皆様のご協力

を得ながら組織の強化を図ります。
④青年部活動

全国各県の青年部と情報を共有し、青年層の把握など基本的な活動から見直していきます。

⑤QOL向上活動

「東京歩こう会」など腎臓病患者のQOLを促進するための活動を強化します。また、文化的で豊かな生活の質の向上を目指します。

⑥東腎協第9回大会

2019年9月15日(日)に東腎協第9回大会を行います。長期透析者(40年、30年)の表彰や記念講演などを予定しています。

(4) その他の事業活動

①関連する他団体との共同事業を積極的に推進します。

②(一社)全腎協・NPO東難連と協力し、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行います。

③福祉・移送相談推進事業、腎臓病患者の食事療法に関する事業などをを行います。

貸借対照表

2019年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金預金	26,361,631	未払金	21,779
未収金	237,000	前受金	16,200
流動資産合計	26,598,631	預り金	37,974
固定資産		仮受金	0
什器備品	3	流動負債合計	75,953
保証金	585,000	負債合計	75,953
固定資産合計	585,003	【正味財産の部】	
資産合計	27,183,634	正味財産	27,107,681
		(うち当期正味財産増加額)	△ 515,718
		負債及び正味財産合計	27,183,634

財産目録

2019年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金手許有高	28,602	未払金	21,779
郵便振替(南大塚郵便局)	15,624,301	前受金	16,200
ゆうちょ銀行(南大塚郵便局)	17,188	預り金	37,974
普通預金(三菱UFJ銀行)No.1	2,191,540	給与源泉税預り金	14,050
普通預金(三菱UFJ銀行)No.2	0	報酬源泉預り金	13,640
定期預金 三菱UFJ銀行	7,500,000	東京步こう会	10,284
ゆうちょ銀行(定期預金)	1,000,000	流動負債合計	75,953
未収金	237,000	負債合計	75,953
流動資産合計	26,598,631	正味財産額	27,107,681
固定資産		(うち当期正味財産増減額)	△ 515,718
什器備品	3	負債及び正味財産合計	27,183,634
保証金	585,000		
固定資産合計	585,003		
資産合計	27,183,634		

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支報告書（自2018/4/1～至2019/3/31）

	2018年度決算	2018年度予算	予算比	
(1)会費収入	14,690,800	15,080,000	97.4%	
会費収入	13,699,800	18,360,000	74.6%	
賛助会費収入	991,000	1,040,000	95.3%	
(2)事業収入	215,180	286,800	75.0%	
提携手数料収入	1,780	2,000	89.0%	
都民の集い事業収入	100,000	100,000	100.0%	全腎協より助成
「ぜんじんきょう」発送費助成	113,400	184,800	61.4%	全腎協より助成
(3)寄付金収入	1,250,607	1,300,000	96.2%	
寄付金収入	515,467	300,000	171.8%	
募金収入	735,140	1,000,000	73.5%	国会請願募金
(4)その他の収入	2,776,611	2,792,000	99.4%	
受取利息収入	662	0	0.0%	預金利息
資料印刷代収入	24,035	20,000	120.2%	患者会等資料印刷代
物品販売収入	0	0		
雑収入	20,014	0		
機関誌広告収入	2,731,900	2,772,000	98.6%	機関誌広告折込、HPバナー、名刺広告他
収入合計	18,933,198	19,458,800	97.3%	
(1)腎臓病に関する知識の普及と 予防等を促進する事業	4,346,222	5,295,000	82.1%	
腎移植キャンペーン事業	365,204	400,000	91.3%	運営諸費用
都民の集い事業	172,269	215,000	80.1%	運営諸費用
機関誌発行事業	2,961,975	2,990,000	99.1%	機関誌制作・印刷・発送費用
ホームページ管理事業	190,728	225,000	84.8%	保守管理運営費用
知識の普及事業	656,046	1,465,000	44.8%	ブロック活動、各委員会諸活動
(2)腎臓病患者の自立を支援する ための相談事業	0	0		
自立支援事業	0	0		
(3)腎臓病患者の医療体制の充実 と福祉の向上を図る事業	40,092	50,000	80.2%	
都庁予算要請事業	40,092	50,000	80.2%	予算要請行動他
(4)関連他団体との協同事業	5,139,876	5,186,000	99.1%	
国会請願事業	109,012	220,000	49.6%	全腎協へ15%上納他
全腎協他に協力する事業	5,030,864	4,966,000	101.3%	全腎協分担金、東難連活動費等
(5)福祉移送相談推進事業	0	0		
福祉移送事業	0	0		
(6)腎臓病患者の食事療法に資す る事業	0	0		
低蛋白米の広報事業	0	0		
小学校食育指導事業	0	0		
(7)腎臓病患者の災害対策事業	0	20,000	0.0%	
災害対策訓練事業	0	20,000	0.0%	災害対策委員会
事業費合計	9,526,190	10,551,000	90.3%	
給料手当	2,350,800	3,700,000	63.5%	固定給
雑給	2,101,494	1,142,820	183.9%	変動給
法定福利費	21,779	45,000	48.4%	労働保険料
通勤交通費	541,690	740,000	73.2%	
保険料	18,500	25,000	74.0%	損害保険料
事務局家賃	2,116,800	2,117,000	100.0%	豊島区南大塚事務所
什器備品費	685,736	700,000	98.0%	リース料金
水道光熱費	141,462	160,000	88.4%	
通信運搬費	1,106,954	830,000	133.4%	会員・患者会宛通信費、
支払手数料	91,580	78,000	117.4%	振込手数料等
会議費	163,362	133,000	122.8%	理事会交通費、役員会
租税公課	0	0		
事務局運営費	105,042	110,000	95.5%	
事務用消耗品費	379,068	375,000	101.1%	
慶弔交際費	57,699	30,000	192.3%	
雑費	40,760	50,000		2015年度関東ブロック残余金精算
管理費合計	9,922,726	10,235,820	96.9%	
支出合計	19,448,916	20,786,820	93.6%	
収支差額	△ 515,718	△ 1,328,020	38.8%	
次期繰越収支差額	27,107,681	26,295,379	103.1%	2018年度期首繰越金27,623,399円

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 予算案

勘定科目		金額	内 訳
収 入	会費収入	12,960,000	2,400名
	賛助金収入	1,000,000	
	提携手数料収入	2,000	
	募金収入	1,000,000	国会請願募金
	寄付金収入	300,000	
	資料印刷代収入	20,000	
	物品販売収入	0	
	広告料収入	2,764,000	機関誌広告料、HPバナー広告他
	都民の集い協賛収入	100,000	全腎協補助金
	全腎協会報発送費収入	172,200	全腎協補助金
	受取利息	0	
	雑収入	0	
収入合計	18,318,200		
事 業 費	腎移植キャンペーン	400,000	上野恩賜公園
	都民の集い	250,000	
	機関誌発行事業	3,320,000	雑誌「とうじんきょう」発行
	ホームページ	190,000	保守維持費、更新料
	組織活動費	1,195,000	ブロック活動、青年部、会員拡大、大会総会費用等
	全腎協大会参加費	140,000	
	関東ブロック	50,000	
	国会請願募金	180,000	全腎協へ募金の15%、ポスターチラシ、日当、交通費等
	低蛋白米広報	30,000	災害備蓄米送料
	災害対策事業	20,000	委員会、資料印刷代等
	他団体との提携	48,000	東難連会費等
	全腎協協力金	4,320,000	2,400名 @150円/月
事業費合計	10,143,000		
管 理 費	給料手当	2,160,000	事務局人件費(固定給)
	雑給	2,650,000	事務局人件費(変動給)
	通勤交通費	530,000	通勤定期代
	法定福利費	45,000	労働保険料
	保険料	0	
	事務局家賃	1,944,000	162,000円/月 更新料1ヶ月等
	リース料	685,000	印刷機器リース料
	什器備品費	50,000	シュレッダー買換
	水道光熱費	150,000	
	通信運搬費	970,000	配送料等
	支払手数料	120,000	送金手数料等
	会議費	150,000	理事会交通費等
	事務局運営費	110,000	
	事務用消耗品費	450,000	
	慶弔交際費	50,000	
	租税公課	0	
	雑費	50,000	
管理費合計	10,114,000		
支出合計	20,257,000		
収支差額	△ 1,938,800		
次期繰越収支差額	25,168,881	2019年度期首繰越額27,107,681円	

監査報告書

平成31年 4月 26日

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 梅原秀孝殿

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会

監事 山口 登



監事 糸賀久夫



私たちは、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、月次の報告書を確認し、又理事等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務の執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

2019／2020年度役員推薦名簿

	氏名	患者会	再・新	所属
1	戸倉 振一	森山友の会	再	東 部
2	金井 信憲	新江東橋クリニック	再	東 部
3	酒井 豊	菊川橋クリニック腎友会	再	東 部
4	野口 忠男	清湘会記念病院腎友会	新	東 部
5	榊原 靖夫	高中腎友会	再	北 部
6	鈴木 明彦	高中腎友会	再	北 部
7	三好かおり	高松病院腎友会	再	北 部
8	長澤 浩	あかまつ透析クリニック患者会	新	北 部
9	古暮 宏	腎内科クリニック世田谷患者友の会	再	中南部
10	須賀 春美	虎の門・高津会	再	中南部
11	松本 茂利	個人会員	再	中南部
12	長井久美子	個人会員	再	中南部
13	梅原 秀孝	府中けやき会	再	多 摩
14	中野 雄蔵	織本病院腎友会	再	多 摩
15	板橋 俊司	日野クリニック腎友会	再	多 摩
16	村越 京子	八王子東町クリニック桑の実会	再	多 摩
17	山田 裕美	あけぼの東腎会サルビア	再	多 摩
18	福地 恵子	あけぼの東腎会サルビア	新	多 摩
19	小林 正和	昭島腎クリニックひまわり会	新	多 摩
20	関口 新一	国分寺こやま腎友会	新	多 摩
21	横溝久美子	長久保ハナミズキ会	新	多 摩

区東部4名、区北部4名、区中南部4名、多摩部9名

2019／20年度監事推薦名簿

1	山口 登	個人会員	再	多 摩
---	------	------	---	-----

2018年度退任理事／監事名簿

理事	齊藤 和巳	八王子東町クリニック桑の実会		多 摩
理事	杉崎憲三郎	個人会員		多 摩
理事	永見 明子	井の頭クリニック腎友会		多 摩
理事	住安 重	新小岩クリニック友の会		東 部
理事	中村 博	新葛友の会		東 部
理事	白坂 徹夫	個人会員		北 部
監事	糸賀 久夫	個人会員		中南部

リレー エッセイ

原因と発病時期は不明：

雪国の青森で自覚症状のないまま
いつの頃だったでしょうか。職場の健康診断でタンパク尿と微量の血尿が見つかり、その後1回の経過観察を要する程度で、タンパク尿等の所見はあるものの腎機能は正常に働き、心配するものではありませんでした。

しかし、長い間タンパク尿と微量の血尿は続き、当時の医師から腎生検をすすめられました。その結果、「Non IgA腎症」とのことので服薬による治療が始まり、扁桃腺摘出術、副腎皮質ステロイドホルモンによる治療を行い、自覚症状のないままあつという間に「慢性腎不全」になってしまいました。そして、ある日、医師より『須藤さん、1年以内に透析になるでしょう』と…。
取手方式での治療開始…

椎貝クリニック

当時の医師から取手方式による治療が成果を上げている旨の情報が提示され、椎貝クリニックでのセカンドオピニオンを受けることを決意しました。その後、取手方式を取り入れ、青森から取手まで2〜3カ月毎に通院するようになり、血液検査や24時間蓄尿の検査データをもとに食事指導等を徹底し、医師と患者が情報を共有した上で治療を進めていきました。

当時、私は総合職として出張や残業も多く、さらに仕事上外食もあり、良い環境にあるとは言えない生活をおくっていましたが、医師からの指導内容については忠実に実践しました。その結果、私の腎臓は1年以内の透析導入を宣告されてから、約10年間頑張り続けました。

腹膜透析導入を決意：

2015年8月東京へ転居

2016年12月私の腎臓は悪化し、とうとう透析を迎え入れなければならぬ時期がきました。そこで、3つの選択肢を考えました。まず、「腎移植」を考えました。これには時間を要したが、結果的にはドナーがいなかったため断念。次に「血液透析」か「腹膜透析」否か…。最終的に私は自宅で自身が行い管理し、血液透析と比べ拘束される時間が少なく、食事や水分制限がいくぶん緩やかな腹膜透析を選択しました。

腹膜透析導入：

日本赤十字社医療センター(広尾) 腹膜透析の優れた実績のある広尾の日本赤十字社医療センターでの導入を決意しました。
日本赤十字社医療センターは、

医師、看護師、臨床心理士、栄養士、薬剤師、健康運動指導士など多職種の治療チームで構成され、患者を中心に連携が良く取られており、あらゆる分野で専門的な相談ができ、どの分野のスタッフも患者に対して親切丁寧に行き届いた対応をしてくれます。私は、医師を始め各分野のスタッフの指導等については、情報を共有しながら、病気と上手に付き合っていくうと思っています。

腹膜透析導入後

2017年1月に腹膜透析導入後、長い間の夢であった専門的に料理を学びたいと、それまで勤めていた職場を2018年3月末で退職し、同年4月調理師専門学校に入学、調理学や栄養学等を1年間学び今年3月に卒業しました。

3月19日より、東京腎臓病協会に採用となり現在に至ります。
最後に

東京腎臓病協会への入局は、私の新たな人たちとの出会い、共に活動することを通じて私自身も学び成長していきたいと思っています。一日でも早くお役に立てるよう努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

須藤 幸子さん

(すとう さちこ)

透析2年

NPO法人東腎協事務局員



とうじんきょう 活動の まど

多摩ブロック学習会

「シャント・トラブル」

多摩ブロック長代行 中野雄蔵

多摩ブロック学習会を参加者45名が集まり、3月17日(日)午後1時30分から八王子市内の「八王子クリエイトホール」の11階視聴覚室で開催されました。講師は「山下賀正(のりまさ)先生」(佐々木山下医院院長)。講演のタイトルは、透析患者の命綱である「シャント・トラブル」。

講演に先立ち、梅原会長が開会の挨拶。続いて、司会の中野理事から、山下先生のプロフィールが紹介され、講演に入りました。

先生は、延べ8000人の患者の診察に携わってきており、現在

も年間1000人に及ぶ「シャント・トラブル」の診察・診断・手術をこなしておられます。これらの実績を通じて培われた豊富な知見をもとに、パワーポイントを駆使し、映像や具体例を上げながら約1時間30分にわたり熱弁をふるわれました。参加者は、メモをとりながら熱心に聞き入っていました。講演終了後、質疑応答が行われました。最後に、板橋事務局長が今後の行事の説明を含め閉会の挨拶がありました。



多摩ブロック「シャント・トラブル」の学習会

北部ブロック

正会員会議&新年会

北部ブロック 三好かおり

ここでハプニング。山下先生から「希望者方、腕のシャットの状態を診察してあげましょう」との好意の申し出があり、約1時間にわたり先生の診察を受ける機会に恵まれ、参加者の列が続きました。〇山下先生! 本当にありがとうございます。〇午後4時過ぎにすべての行事を終え散会となりました。

2月3日(日)午前11時より、ルノアール巣鴨店にて行われました。参加者は理事も含めて12名。お茶を飲みながら、東腎協の現状や会員減少、各自患者会の報告等話し合いをしました。どここの患者会も抱えている問題は一緒で、正会員の方を悩ませています。

午後2時から場所を変えて、新年会を開きました。

ルノアールから徒歩数分にある「すし常」で、正会員会議に出席された方全員と遅れて来た方が加わり13名で行いました。ランチメニューにプラス一品を



北部ブロック正会員会議

つけ、乾杯で始まりました。テーブルが2つに別れていましたが、それぞれ話が盛り上がっていました。正会員会議では話さない事等、周りの人と意見交換をしながら、交流を一段と深めました。

多摩ブロック

お花見&バーベキュー

多摩ブロック 中野雄蔵

多摩ブロック主催の会員交流懇親会が、3月31日(日)11時より



満開の桜の下で (多摩ブロック)

国立昭和記念公園にて桜満開の下で「お花見&バーベキュー」を開催しました。
中野ブロック長(代行)による乾杯、梅原会長の開会あいさつの後、参加者15名全員の自己紹介でお花見&バーベキューは始まりました。
天候は前日までの雨模様がすっかり上がり、絶好の花見日和でした。テントを張り、また、グリル、テーブル、椅子も完備した中で、日本酒やお茶などを飲みながら、豚ロース・バラ肉・野菜(ピーマ



バーベキューとお酒で盛りあがる(多摩ブロック)

ン・人参・南瓜・キャベツ)を炭火で焼き、最後にアルミ板で焼きそばを作り、炭火の香ばしさを感じながら、美味しく頂くことができました。
今回の参加者には、家族同伴の方も参加され、満開の桜を見ながら、バーベキューを通して透析の悩みや自分が感じていることなど、会員同志やご家族の方が情報交換しあい、交流を深め、楽しい一日を過ごすことができました。
今回の患者会交流懇親会を通して、同じ腎臓病(透析等)の仲間

2月3日(日)多摩ブロック正会員会議(10時から立川アイム)と新年会(12時から立川南口やるき茶屋)が行われました。正会員会議は14名、新年会は個人会員も含めて19名が参加しました。
正会員会議は中野ブロック長(代行)の司会進行で始まり、梅原東腎協会長のあいさつ、板橋事務局長の活動報告と東腎協を巡る情勢の報告がありました。
午後からの新年会は、患者会会員と個人会員の初めての合同企画でしたが、普段なかなか話すことのない会員同士で、多少のアルコールも入って大いに盛り上がりました。

**多摩ブロック
正会員会議&新年会**
多摩ブロック 中野雄蔵

に相談して、誰かに話をし、共有することにより、若干とも心が楽になることがあるのではないのでしょうか。このようなイベントに多くの会員の方やご家族の方々に参加して頂き、会員の方々がより元気な毎日を過ごすことができるようになることを願っています。



個人会員さんも参加して乾杯 (多摩ブロック)

最後に、中野ブロック長(代行)から、3月17日の「シャント」学習会、3月31日のお花見バーベキューの案内があり閉会となりました。

**東京都23区区民公開講座
座 震災に備えて**

災害対策委員長 戸倉振一

機関誌1月号でご案内いたしました、東京都区部災害時透析医療ネットワーク(以下、ネットワー



東京23区区民公開講座

ク)、東京都透析医会(以下、医会)、中外製薬株式会社共催による「東京23区、区民公開講座」震災に備えて」が3月10日(日)に開催されました。災害に対する関心は高く定員400名の会場が医療関係者、患者で満員でした。参加された皆様ご苦労さまでした。当日は、ネットワーク代表世話人の酒井謙先生の開会挨拶に始まり、医会会長の安藤亮一先生、東京都臨床工学技士会(以下、技士会)災害対策委員長の岡本裕美先

生の挨拶のあと、2つのテーマの講演と質疑応答がありました。

講演1は医会災害対策委員長の花房規男先生が司会で、ネットワーク代表世話人の菊地勘先生による「新たにスタートした東京都区部災害時透析医療ネットワークの取り組み」三多摩地区、医会、技士会との連携について」というテーマの講演でした。

平成30年1月に医会が発足し、5月に医会に災害対策委員会が設置されたことにより、区部のネットワークと三多摩腎疾患治療医会の災害時ネットワーク、また技士会災害対策委員会が一体となって連携し、東京都福祉保健局をはじめ関連機関と協議をして、災害対策に対する取り組みを進展させて



座談会パンフレット

冊子が配布されていますが、これについては、全会員分の増刷をしていただけるとのことです。その後日配布する予定です。

いること、災害時の診療可能状況等の把握の方法と患者への情報の伝達方法、災害時における透析医療確保の支援要請の流れ、患者の自助として最も重要と考えられる災害時の食事管理と備蓄、緊急離脱の実技の動画等の紹介がありました。

講演2は、医療法人如水会嶋田病院理事長の嶋田英敬先生による「熊本地震の報告」そのとき透析施設は!というテーマで、熊本地震でご苦労されたことや、さまざまな教訓についてお話していただきました。

なお、当日は資料として、12月に行われたネットワーク代表世話人の酒井先生、菊池先生と東腎協が行った座談会の要旨をまとめた

第4回「東京歩こう会」

1月20日(日)
隅田川界隈

JR錦糸町駅北口広場に集った27名で、記念撮影。10時過ぎ最初の目的地に向けて出発。

錦糸町駅北口周辺に広がる「錦糸公園」を抜けて「天神橋」を渡り、亀戸天神社に。各自散策後、次の目的地「東京スカイツリー」に。押上駅に続く道に隊列をなして30分程進むと「東京スカイツリー」の威容が姿を現す。

ここで15分程休憩し、隅田川に架かる「言問橋」から「吾妻橋」を目指し、橋を右折し、浅草寺雷門前だ。浅草寺は、東京都内最古の寺で山号は「金龍山」。

昼食は浅草寺雷門
日曜日とも重なり外国語が飛び交う雷門前の混雑。お店探しも、一苦労。

1時30分、両国目指して出発。当日は、大相撲初場所の中日。大勢の相撲ファンで溢れていた。途中1名の方が帰ったが、他全員無事故で予定の行程を歩き終着点に到着。再会を約し解散となった。



第5回「歩こう会」
4月7日(日) 深大寺へ

「歩こう会」世話人
三好かおり

絶好に恵まれ、無風状態、気候も良く、最高のお散歩日和。ちょっと歩くとジワリと汗ばむくらいに、途中上着をぬぐ人も増えた。参加者は幼児一名、小学生一名を含む34名。幼児の子がいると場が和む。この子は今回で2回目の参加である。初参加の方も数名いらした。腎内科クリニック世田谷の菅沼先生も。又、看護師の白岩さん、黒川さんも参加して頂き、何が起こっても心強い状態。
十時に調布駅を出発し、水木しげるロードでゲゲゲの鬼太郎のキャラクター像を探し、中には話に

夢中になって探せなかった方もいた。布多天神社では、鬼太郎が住んでいるかもしれない森を見た。立入禁止の看板があるのだが、間違つて入ると警告メッセージが流れるようだ。

野川沿いは、桜が満開。見ごろが過ぎていくかもしれないと心配していたが、寒い日が続いたおかげで、見事な桜を見る事できた。目の高さまで垂れ下がった枝も多く、きれいな桜並木であった。歩きながらも写真を撮る人が多かった。川岸では、地元の人達だろうか、バーベキューのいい匂いをさせてお花見をしている人や、対岸に渡る大きな石を子供たちが楽しそうに渡っていた。それを横目に我々は歩き花見である。

神代植物園までは緩やかな坂道をゆっくり歩いた。幼児には遅く感じたのか走って行き、交差点で止まって後ろを振り返り、「速く」と呼びかけることを何度か繰り返していた。「元氣だなあ」という声が聞こえていた。

神代植物園では、歩いた所には、桜とチューリップが咲いていたがバラやつつじが咲く季節には早すぎた。園内で自由行動を一時間設

け、大温室に行く人、ベンチに座って休憩しながら交流する人、各々自由に過ごした。温室に行った人の中には中が暑くて出てきてしまった。「外の方が気持ちいいよね」と木陰のベンチに腰を下ろした。幼児の子は、ここぞとばかりに走り回っていた。植物園の深大寺門から出て深大寺脇の人混みを通り抜けて、鬼太郎茶屋向かいの広場へ。迷子にならない様、幼児の子は先頭の案内役の後ろをぴったりと付いて歩いていった。

歩こう会はここで終了、解散となった。数人ずつのグループに分



神代植物公園

かれて有名なお蕎麦を食べに行つた。なお「お蕎麦」だけ食べたいという方が合流したという事もあった。
午後は希望者のみの参加で、8名だった。地元ボランティアガイドの説明を聞きながら一時間程度散策。深大寺の名前の由来、蕎麦が有名になった成り行き、天台宗への改宗、句碑等々である。

お知らせ
第6回歩こう会
次回は6月16日(日)
皇居及び周辺を予定しています
ぜひご参加ください。

投稿のお願い 編集委員会では
会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。「なかまのたより」に投稿の方、旅行、趣味、食事も、サークル活動等内容を
問いませんので何でもお寄せ下さい。

☎ 03-3944-4048
E-mail kikanshi@foujin.jp

第48回国会請願

「腎疾患総合対策」の

早期確立を求めるとい



去る3月14日（木）参議院会館

講堂に北海道から沖縄まですべての地域の患者代表181名が集まり「腎疾患総合対策」の早期確立を求める集いが開催されました。

防に向けた総合対策を行う事。

1. 腎臓病患者に必要な介護支援と介護保険制度の検討をする事。

1. 通院困難な透析患者の通院保障体制と必要な時に入所・入居できる施設の整備する事。

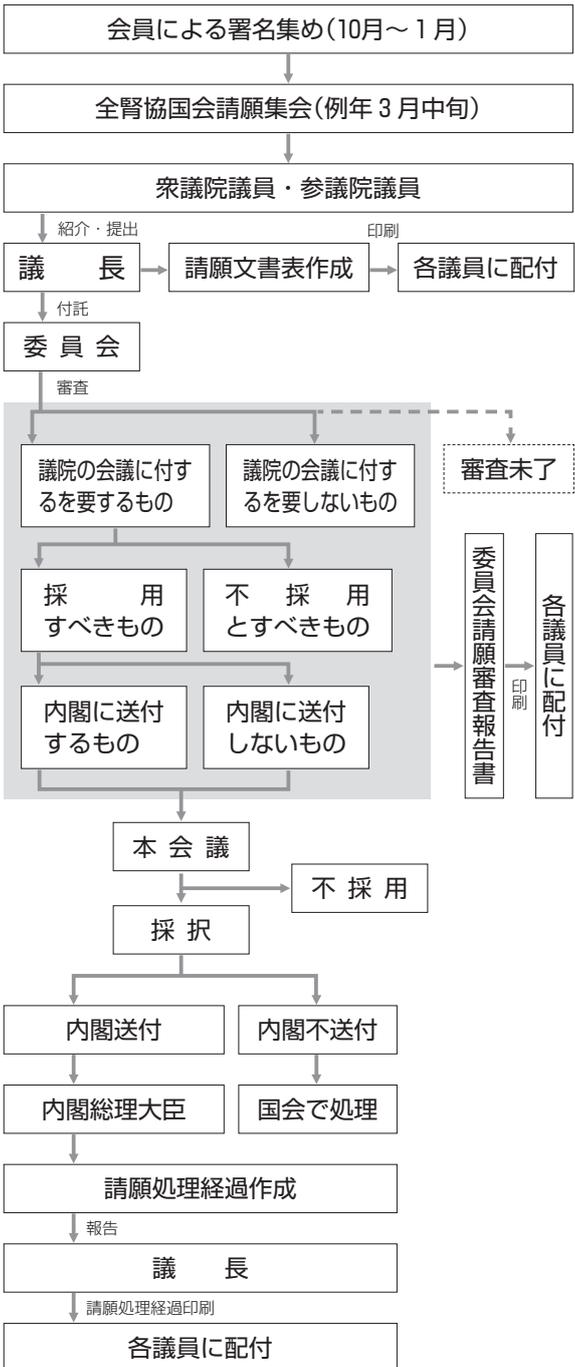
1. 大災害時の国・地方自治体が連携した人工透析治療体制の整備

する事。

1. 腎移植の推進及び腎再生医療の研究促進する事。

集会では全腎協会長の挨拶に続き、衆参国会議員24名の来賓挨拶が行われ、また、議員秘書64名が紹介されました。その後、請願署名525、312筆（東腎協109、171筆）を各地域代表が衆参国会議員30名の紹介議員室を訪問、請願主旨を説明し、請願書を手渡ししました。

国会請願の流れ



5年連続、両院で採択
請願書は紹介議員から衆参両院議長へ提出され、その後、両院の厚生労働委員会で審議・採決後、衆参両院本会議にまわされ、採決される予定です。過去5年連続で両院にて採決されました。尚、採

第48次国会要請行動

国会議員との対話から

参議院議員 石田昌宏先生

(秘書五反方正彦氏、東柊氏に面談)
福生病院の事を心配されていた。腎臓病の為の議員連盟を立ち上げ、より一層力を入れていきたい。秘書の方が以前、透析施設に勤めていた為、詳しいようである。

参議院議員 小池 晃先生

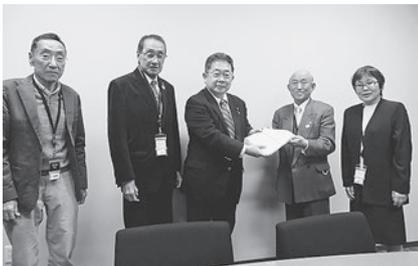
(先生本人に面談)
元医師だった事もあり、福生病院問題で透析が誤解されないかが危惧された。今後は通院手段が重要な問題になってくる事を承知されている。

参議院議員 川田龍平先生

(先生本人に面談)
義父が透析を受けていたので、食事・水分管理の大切さを分かっ



石田昌宏参議院議員



小池晃参議院議員

ている。その為、予防医療(他の病気にも通じる)という意味でも食育に力を入れていきたい。

◇ ◇ ◇
その他、参議院議員では有田芳生先生、吉良佳子先生は不在の為、秘書の方に手渡した。(三好)

衆議院議員

衆議院議員では平沢勝栄先生が不在の為、秘書が対応。請願の趣旨を説明し、請願書及び機関誌も一緒に手渡す。

高木啓先生、初鹿明博先生、太田昭宏先生、高木美智代先生も同上。(鈴木)



川田龍平参議院議員



平沢勝栄衆議院議員秘書

扱されるには全会派の賛同が必要で採択の確立は1割程度の狭き門といわれています。
この採決された請願は、厚生労働省へ廻されますが、厚生労働省では請願事項を誠実に処理することが義務づけられています。

東腎協の取り組み
東腎協からは、梅原会長、古暮副会長、榎原・酒井・松本・鈴木・三好理事と板橋事務局長が参加し、東京都出身の衆議院議員 平沢勝栄(自民) 高木啓(自民)、初鹿明博(立憲民主)、高木美智

代(公明)、太田昭宏(公明)、参議院議員 石田昌宏(自民)、川田龍平(立憲民主)、有田芳生(立憲民主)、吉良佳子(共産)、小池晃(共産)先生の議員室を訪問し、請願内容の説明・懇談・請願書を手渡しました。

国会請願署名活動は私達腎臓病患者の「いのちと暮らし」の土台を支えているもので、今後も毎年継続して実施してまいります。会員皆様引き続きの引き続きのご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

全腎協第48次国会請願 署名・募金一覧表

2019年3月31日

都道府県	署名	募金	都道府県	署名	募金
北海道	13,502	74,034	滋賀	7,903	50,000
青森	2,068	2,700	京都	4,809	26,050
岩手	3,901	24,800	大阪	32,855	34,000
宮城	6,584	49,920	兵庫	26,971	263,831
秋田	14,812	47,911	奈良	8,796	34,114
山形	6,937	19,825	和歌山	6,461	26,464
福島	6,045	20,000	鳥取	2,787	18,982
茨城	5,429	25,180	島根	3,459	15,000
栃木	6,300	14,489	岡山	8,090	10,000
群馬	9,724	40,000	広島	12,514	17,225
埼玉	9,137	70,000	山口	8,402	25,000
千葉	7,068	100,380	徳島	7,890	25,000
東京	10,971	110,000	香川	7,251	42,534
神奈川	8,803	66,516	愛媛	7,203	70,000
新潟	13,372	50,000	高知	7,577	9,150
富山	11,820	120,000	福岡	25,641	60,000
石川	5,060	10,000	佐賀	7,985	18,970
福井	29,074	36,406	長崎	12,189	25,000
山梨	4,869	※15,000	熊本	16,000	70,000
長野	12,402	32,747	大分	6,266	15,000
岐阜	43,236	50,000	宮崎	7,010	35,000
静岡	12,989	150,000	鹿児島	18,336	90,000
愛知	25,908	100,000	沖縄	4,125	44,600
三重	4,869	10,586	その他		※270
			合計	525,400	2,251,414

募金額は、各組織での募金総額の15%

※は入金予定で合計金額には含まれていません。

追悼

東腎協理事・東部ブロック長

中村 博さんを偲んで



ク長としても真剣に取り組んでいました。

以前、関東ブロック大会が浅草で開催された時、自分の人生について、長時間にわたり胸のうちを聞く機会があり、その後よく電話で東腎協の将来の活動について話していました。特に地域内での活動を何時も熱く語られ、ブロック長の立場でいろいろ試行錯誤し、真剣に取り組んでいました。

中村博さんの印象は実直で行動的な方だと記憶しています。東腎協の理事として地域に根ざした活動、透析施設をたゆまなく訪問され、透析患者としての重要な役割と大切さを丁寧な施設に紹介していたと聞いています。

私達は理事として見習わなければならぬ原点だと感じていました。また、東部ブロックのブロッ

ク長は将来の透析患者の為に頑張りたいと話していました。「自分は体を動かすことは好きだから、何でも一生懸命にやりたい、でも理事会での発言はあまり得意ではないんですよ」と笑いながら話していたことが思い出されます。ブロック長会議等は時々欠席していましたが、「体調管理が充分でなくドライウエイトを5kgもオーバーし、翌日も透析をしたので欠

席しました」と話していました。

中村さんには「将来がまだ長いので、命を縮める事にならない様気をつけて」と何度も申し上げましたが、答えはなかったです。まさか、それが現実になるとは大変心が痛みます。将来を期待していただけに残念でなりません。特に印象深いのは、東腎協の諸行事の設営や片付け等、積極的にお手伝いしていた姿を思い出します。

昨年12月23日に永眠され帰らぬ人となってしまいました。痛恨の極みに存じます。謹んで哀悼の意を表します。

これから益々々々活躍 頂けたのに

東部ブロック理事 酒井 豊

東腎協の理事で東部ブロック長の中村さんが突然亡くなられた。理事活動には積極的に参加、自身の治療を受けていた病院では患者会の会長も務められて、東腎協の理事会ブロック会など活動に積極的に参加して、素晴らしい活躍をしていてくれた。

ブロックで行った料理講習会を終えたあと、しばらくして連絡が取れないので病院に連絡を入れて尋ねてみたら昨年12月23日に亡くなられたと教えられた。残念ながら詳しい事は個人情報なので教えては頂けなかったのですが、かねがね心臓に疾患があるとか足に出来た傷がなかなか治らないとか話していられた事などを思い出して、その様な事が原因で亡くなられたのではないかと思つた次第でした。東腎協に参加している患者会のトラブルなどにも積極的に赴きアドバイスなどしていられた事思い出します。

透析年数14年、年齢も54歳これから益々々々活躍頂けた事と思つし実に惜しい人がまた喪われてしまいました事大変に残念な思いでいっぱいです。

心からご冥福をお祈り致します。

中村 博(なかむら ひろし)2018年12月23日逝去。享年54歳。1964年2月28日茨城県生まれ。2005年透析導入。新葛友の会。2007年よりNPO東腎協理事、2015年東部ブロック長。

ご寄付御礼

○扶桑薬品工業（株）
東京第一支店様

青い鳥はがき寄付御礼

立川ふれあい相互病院患者会希望
会、織本病院腎友会、永山腎友会、
立川北口駅前腎友会

国会請願募金御礼

【患者会】
腎内科クリニック世田谷患者友の
会、小笠原クリニック友の会、大
田病院患者会、松和患者会新宿南

口支部、大島腎友会、代々木病院
腎友会、虎の門・高津会（本院）、
聖橋クリニック腎友会、秋葉原腎
クリニック腎友会、菊川橋クリニ
ック腎友会、金町中央病院グルー
プ、勝和なごみ会、新江東橋クリ
ニック腎友会、新小岩クリニック
友の会、森山友の会、深川橋クリ
ニック腎友会、親水クリニック友
の会、瑞江腎友会、清湘会記念病
院腎友会、入谷クリニック腎友会、
柳原腎クリニック健腎会、あかま
透析クリニック患者会、阿佐ヶ谷
すずき腎友会、高中腎友会、中野
クリニック腎友会、桃井診療所腎

友会、優人大泉学園クリニック患
者会、練馬桜台クリニックさくら
会、新中野フェニックス会、あけ
ぼの東腎会サルビア、立川ふれあ
い相互病院患者会希望会、高尾も

今後の活動予定

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 5月18日～19日（日）
全腎協臨時理事会 | 6月27日～30日（日）
日本透析医学会 |
| 5月25日（土）
東難連総会・記念講演会 | 7月6日～7日（日）
全腎協全国大会 |
| 5月26日（日）
第146回理事会・三役会 | 7月27日～28日（日）
全国事務局長会議 |
| 6月1日～2日（日）
全腎協通常総会 | 7月28日（日）
第148回理事会・三役会 |
| 6月9日（日）
東腎協第14回総会 | 8月24日～25日（日）
全腎協青年部会議 |
| 6月23日（日）
第147回理事会・三役会 | 9月15日（日）
東腎協第9回大会 |

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年（昭和47年）11月19日、
東京都腎臓病協議会（現、特定非
営利活動法人東京腎臓病協議会）
を結成しました。結成から44年を
経過し、透析医療も格段に進歩し、
40年を迎えている透析患者さんも
いらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医療
費制度の削減が社会問題となっ
ており、莫大な費用を要する透析
医療も安心してはられない状況で
す。これからも医療機関、各企業、
患者団体と結束して活動すること
が大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る
活動に賛同いただければ是非、賛
助会員として団体の活動を支えて
いただきたく心よりお願い致しま
す。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
団体年額 1口10,000円／1口以
上
※年1回名刺広告を機関誌「とう
じんきょう」夏号に掲載させてい
ただきます。



みじ会、杏林腎友会、羽村相互診
療所たんぼの会、永山腎友会、
吉祥寺あさひ腎友会、国分寺こや
ま腎友会、昭島腎クリニックひま
わり会、織本病院腎友会、聖蹟さ
くら会、村上医院ひまわり会、調
布病院腎友会、長久保病院ハナミ
ズキ会、日野クリニック腎友会、
八王子東町クリニック桑の実会、
府中けやき会、豊田クリニック患
者会、立花クリニック友の会、す
ながわ相互診療所患者会・いずみ、
平山腎友会

【個人】（敬称略）

山田多喜雄、鈴木幸輝、末崎美子、
金子智、萩原高、新村敏明、小山

景子、彦田忠義、木村千保子、飯塚繁、金津勇子、伊藤清、高野太郎、榊永照也、石山久美子、宮澤克人、中瀬京子、内田利男、永田淑子、橋本光夫、佐藤義範、青木厚子、杉崎憲三郎、福島昌昭、額賀とし子、白銀榮子

「青い鳥郵便はがき」 無償配布にご協力ください

「青い鳥郵便はがき」は、日本郵便(株)が身体障害者及び知的障害者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的とし、無償で配布しています。東腎協では、会員の皆様から「青い鳥郵便はがき」のご寄付をいただき、東腎協財政の一助になるようにご協力を願っております。

◎受付期間

2019年4月1日(月)から同年5月31日(金)まで

◎配布期間

2019年4月22日(月)から同年5月31日(金)まで

1. お申し込み方法

(1) 窓口での申込方法

窓口で配布の希望を申し込む場合は、最寄りの郵便局(簡易

郵便局を除きます。以下同じとします)に身体障害者手帳をご提示の上、「青い鳥郵便葉書配布申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。なお、代理人によるご提出も可能です。

(2) 郵送でのお申し込み方法

郵送により配布の希望の申し込みをする場合は、「青い鳥郵便葉書配布申込書」に同等の内容を記入して最寄りの郵便局に郵送して下さい。

(3) 配布の方法

2019年4月22日(月)以降、最寄りの配達を受け持つ郵便局からお届けします。

編集後記

▽2018年度も何とか無事終了しました。新年度は役員改選。私も理事・事務局8年目を迎えることとなります。

振り返ると、あつという間のよな気がする。不幸にも仲間も何人も見送った。一方、この間私が元気に活動できたのも、今日の医療制度と東腎協の仲間のおかげと改めて皆様に感謝いたします。

▽新年度はこれからの東腎協にと

って、大きな節目になると思いますが。創立50周年を前に、東腎協の存亡をかけた活動のスタートとなるよう、事務局一同決意新たに臨んでいきたいと思えます(板橋)

〈事務局雑感〉

■東腎協の事務局に在籍五年。この間、「健常者」としての肩身の狭さ(?)もないわけではなかったが、ついに私も病に襲われた。突然の脳梗塞であった。救急車で運ばれた時は、手足はぶらぶら口元からヨダレ。もはやこれまでか、

と一時は観念したが、車椅子を使わずに退院出来たのは幸運であった。それに、後継の事務局員の活躍で仕事はなんの滞りもなく進んでいたのを認めて呆然。悲喜相半ばの複雑な心境だった。(白坂)

■40年以上の花粉症である私にとって辛い時期が過ぎ、春本番?というよりも初夏がやってきた。目の痒み、マスクの着用、洗濯物をはたいて取り込む等の煩わしい事から開放され、爽やかな季節を実感しています。

2月に2泊3日で山形蔵王のスノウモンスターを見に行き、とても寒かった事を思い出した。G・Wには修善寺にいき、今度は何

処へ行こうかな?

事務局に勤めて1年が過ぎ、あつという間でした。これからも、お世話になります。(三好)

■3月14日(木)第48次国会請願署名も無事に提出することができました。署名活動にご協力いただきありがとうございます。

今年桜の開花時期も例年よりも若干遅かったようで4月にはいつからお花見が楽しめました。花粉の量も多いようで花粉症の私は目が痒くて擦ってしまい、涙目と充血に悩まされましたが、やつと風薫る季節になりました。今年度も宜しくお願いいたします。(松山)

■4月より東腎協に事務局員として、入局しました。

調理師として、現在、腎臓病の「食」に関して勉強中です。今後の健康や命にかかわる重要なものであると自覚しております。できるだけ早く「食」に関する情報を発信できるようにしたいと思います。お待ちしております。

不慣れた部分もありますが、東腎協の一員として、一生懸命務めさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いします。(須藤)